

令和7年度

水道管維持管理事業

蓮花寺橋水管橋塗装塗替設計業務

仕様書

施 工 場 所 東広島市西条町下見

位置図

蓮花寺橋水管橋塗装塗替設計業務





蓮花寺橋水管橋
 $\phi 700$ L=42.6m





(別記様式 1)

特記事項（管理技術者及び照査技術者の選任）

この業務については、次のとおり管理技術者及び照査技術者を定めることが必要である。

業 務 名	令和 7 年度 水道管維持管理事業 蓮花寺橋水管橋塗装塗替設計業務	
委託業務場所	東広島市西条町下見	
○印がある部分の技術者が必要である。 なお当該技術者は、別に定めのない限り、配置時点で直接的かつ恒常的な雇用関係（所属する会社との間に第三者の介入する余地の無い雇用に関する一定の権利義務関係が開札日前（随意契約にあつては見積書提出日前）までに連続して 3 か月以上存在すること）にある者とする。		
業 務 の 種 類	管 理 技 術 者	照 査 技 術 者
設 計 業 務	(○) (技術士又は RCCM) 設計業務の種類 上水道 及び工業用水道	(○) (技術士) 設計業務の種類 上水道 及び工業用水道
	() (資格は問わない)	() (資格は問わない)
	測 量 業 務	() (資格要件は別表参照)
地質及び土質調査業務	() (資格要件は別表参照)	() (資格要件は別表参照)
用地調査等業務	() (資格要件は別表参照)	() (資格要件は別表参照)
建築設計等業務	() (資格要件は別表参照)	() (資格要件は別表参照)
管理（照査）技術者の履行期間途中での交代は、管理（照査）技術者の死亡、傷病または退職等、真にやむを得ない場合を除き原則認めない。その場合であっても、交代前後における管理（照査）技術者の技術力が同等以上に確保されなければならない。		

(注) 必要とする技術者の欄に、○を付して使用のこと。

(別表)

委託業務	管理技術者及び照査技術者の資格要件			
設計業務	(1) 技術士又はシビルコンサルタントマネージャー(RCCM)の資格保有者			
	設計業務の種類	技 術 士	R C C M	添付書類
	河川・砂防 及び海岸・海洋	技術士法（昭和58年法律 第25号）第4条に定める 技術部門のうち「建設部門」 に該当する資格	左記「設 計業務の 種類」ご とのRCCM の資格	技術士登 録等証明 書 又 は RCCM の資 格証の写 し（コピー可）
	港湾及び空港			
	電力土木			
	道 路			
	鉄 道			
	造 園			
	都市計画及び 地方計画			
	土質及び基礎			
	鋼構造及び コンクリート			
	トンネル			
	施工計画・施工 設備及び積算			
	建設環境			
	上水道及び 工業用水道	上記法に定める技術部門 「上下水道部門」に該当す る資格		
	下 水 道			
	農 業 土 木	上記法に定める技術部門 「農業部門」に該当する資 格		
	森 林 土 木	上記法に定める技術部門 「森林部門」に該当する資 格		
	水産土木	上記法に定める技術部門 「水産部門」に該当する資 格		
	廃棄物	上記法に定める技術部門 「衛生工学部門」に該当す る資格		
地質	上記法に定める技術部門 「応用理学部門」に該当す る資格			

	機械	上記法に定める技術部門「機械部門」に該当する資格		
	電気電子	上記法に定める技術部門「電気電子部門」に該当する資格		
	(2) (1) と同等の能力と経験を有する技術者（同上。この場合は、業務の種類を問わず以下の要件を満たせばよい。） ・・・・・・・・・・実務経歴書を添付 ① 学校教育法（昭和22年法律第26号）による大学（旧大学令による大学を含む。）又は高等専門学校（旧専門学校令による専門学校を含む。）の土木工学又は同等の工学に関する科目（橋梁工学、土質工学、河川工学、海岸工学、構造力学、材料工学、水理学、道路・鉄道工学、コンクリート工学、都市計画及び地方計画、その他農業土木、森林土木に関する学科を含む。以下同じ。）を習得し、建設コンサルタント等業務（建設事業の計画・調査・立案・助言及び建設工事の設計・管理業務に従事又はこれを監理することをいう。以下同じ。）に20年以上の実務経験を有する者 ② 学校教育法による高等学校の土木工学又は同等の工学に関する科目を習得し、建設コンサルタント等業務に22年以上の実務経験を有する者 ③ その他の者にあつては、建設コンサルタント等業務に25年以上の実務経験を有する者			
測量業務	『測量業務共通仕様書（広島県）』第108条に規定する「管理技術者」又は「土地家屋調査士」であり、高度な技術と十分な実務経験を有する者が管理技術者の資格要件となる。 ・・・・・・・・・・資格証の写しを添付			
地質及び土質調査業務	『地質・土質調査共通仕様書（広島県）』第102条に規定する「管理技術者」とし、業務の履行にあたり、技術上の管理を行うに必要な能力と経験を有する者。			
用地調査等業務	『用地調査等共通仕様書（広島県）』第2条(5)に規定する「主任担当者」（資格要件は次のいずれかに該当する者） (1) 主たる補償業務（補償コンサルタント登録規程第2条に規定する登録部門、（土地調査、土地評価、物件、機械工作物、営業補償・特殊補償、事業損失、補償関連、総合補償）のいずれかに係る補償業務。以下同じ。）に関し7年以上の実務経験を有する者 ……………実務経歴書を添付 (2) 主たる補償業務に関する補償業務管理士（社団法人日本補償コンサルタント協会の補償業務管理士研修及び検定試験実施規程第14			

	条の規定による補償業務管理士登録台帳に登録されている者をいう。) …………登録証の写しを添付 (3) 補償コンサルタント登録規程第3条第1号に規定する補償業務の管理をつかさどる専任の者（補償業務管理者） …………登録に当たり交付される補償コンサルタント登録済を証する書面の写し（登録部門に係る補償業務管理者の氏名が記載されたもの）を添付 (4) 補償業務全般に関する指導監督的実務の経験3年以上を含む20年以上の実務の経験を有する者 …………実務経歴書を添付
建築設計 等 業 務	『建築設計業務委託共通仕様書（公共建築協会）に規定する「管理技術者」とする。したがって、管理技術者は、特記仕様に記載した「一級又は二級建築士」で高度な技術と十分な経験を有するものが、管理技術者の資格要件となる。 …………資格証の写しを添付

特 約 事 項

1 債務負担行為に係る契約の特則

- (1) 業務委託契約約款（以下「約款」という。）において、各会計年度における業務委託料の支払限度額（以下「支払限度額」という。）は、次のとおりとする。

令和7年度 業務委託料（税込）の30%

令和8年度 残額

- (2) 支払限度額に対応する各会計年度の出来高予定額は、次のとおりである。

令和7年度 1,320,000 円

令和8年度 残額

- (3) 発注者は、予算上の都合その他の必要があるときは、支払限度額及び前項の出来高予定額を変更することができる。

2 債務負担行為に係る契約の前金払の特則

- (1) 約款第33条及び約款第34条の規定の適用について、約款第33条中「契約書記載の履行期限」とあるのは「契約書記載の履行期限（最終の会計年度以外の会計年度にあっては、各会計年度末）」と、同条及び約款第34条中「業務委託料」とあるのは「当該会計年度の出来高予定額」とする。ただし、この契約を締結した会計年度（以下「契約会計年度」という。）以外の会計年度においては、受注者は、予算の執行が可能となる時期以前に前払金の支払を請求することはできない。

- (2) 前号の規定にかかわらず、当該契約においては、契約会計年度に翌会計年度分の前払金を含めて支払うこととし、受注者は、契約会計年度に翌会計年度に支払うべき前払金相当分を含めて前払金の支払を請求することができる。

蓮花寺橋水管橋塗装塗替設計業務

特記仕様書

1 総則

1-1 目的

本業務は、東広島市西条町下見地区に設置されている水管橋に低濃度 PCB が含有していることが判明したことから、安全にかつ配水の運用に支障を与えない方法でこれを除去し、水管橋の塗装を塗り替えるために必要な実施設計を行うものである。

1-2 対象施設

本業務における塗装塗替設計の対象施設は、以下のとおりである。

詳細な構造については、別添図面を参照のこと。

施設名	管種	口径・延長	橋台	設置年度
蓮花寺橋水管橋	鋼管	φ700mm（送水管）・L=42.6m	3	昭和56年度

2 業務内容

本業務の主な作業内容は、次のとおりとする。

業務を実施する上で必要とする資料については、事前に調査職員へ確認及び協議を行い、必要に応じて提供を受けること。また、受注者は、形状、構造、使用材料、施工方法などにおけるコスト縮減について、検討し、検討結果について、調査職員へ報告すること。本業務の実施にあたっては、新技術情報提供システム（NETIS）等を利用して、新技術・新工法の採用について検討を行うこと。

2-1 設計協議

設計協議については、初回（業務着手時）・中間（2回）・最終（成果品納入時）に実施することとし、必要な経費を見込んでいる。

初回打合せは、業務目的・内容の把握、実施方針、業務工程及び検討事項等の確認を行う。

中間打合せは、設計過程の報告、施工検討及び安全対策検討等について協議を行う。

また、工法決定後、関係機関との協議を行う。

最終打合せは、業務完了時の総括説明及び成果品納入、検収の立会いを行う。

2-2 設計計画

なお、本業務の実施にあたり、業務の目的を把握したうえで、業務概要、実施方針、実施体制、業務工程及び打合せ計画等について検討し、業務計画書を作成すること。

2-3 現地調査

塗替設計に先立って現地調査を行い、水管橋の劣化状況と設置状態や周辺環境等について、調査を行うこと。

受注者は、業務上必要な資料、地下埋設物及びその他支障物件（電柱、架空線等）については、関係官公庁、企業者における将来計画を含めて、十分な調査を行わなければならない。

2-4 関係機関協議及び資料作成

本業務及び塗装塗替工事の実施にあたり必要となる関係機関（河川管理者・水利関係者等）との協議（申請）及びその説明資料（河川流量計算等）の作成を行う。塗装塗替工事に係る河川占用や施工時期等の調整のため、河川管理者と協議を行う必要があると想定している。

2-5 既存資料調査

対象施設の塗装塗替設計を実施するにあたり、竣工図等の既存資料を収集整理する。

①発注者が提供する資料

- ・水道施設関連資料（竣工図）

②その他、収集する主な資料

- ・その他（河川、護岸、道路橋等の隣接構造物の資料）

2-6 施工検討及び安全対策検討

塗装塗替工事の工程計画の作成、施工要領、施工計画図等の作成を行う。

塗替工事に要する工法、工程等を比較検討し、施工方法、施工手順等を取りまとめ、概略工程表を作成すること。

現地踏査、塗膜除去に伴うばく露防止を含む安全対策を検討する。対策案については、現地調査、施工計画の検討結果等を基に、実施可能な案を複数提案する。

工法の比較検討に当たっては、対策の確実性（実績）、施工性、経済性、安全性（周辺への影響）等について、総合的に評価し、調査職員との協議により最適案を選定して、とりまとめを行うこと。

2-7 劣化対策検討

現地踏査、劣化状況等を考慮して、実施可能な案を複数提案すること。補修工法の比較検討に当たっては、対策の確実性（実績）、施工性、経済性、安全性（周辺への影響）等について、総合的に評価し、調査職員との協議により最適案を選定して、とりまとめを行うこと。

2-8 概算工事費作成

塗装塗替工事の概算工事費を作成する。

施工計画の検討結果等を基に、選定した除去・塗装工法及び安全対策等について、それぞれ数量を取りまとめて、概算工事費を算出する。

2-9 設計図

塗装塗替工事を行うために必要となる実施設計図を作成する。橋台周辺の劣化部の補修図の作成も行ふ。また、河川協議等に必要な図面を作成する。

なお、図面作成については、次のとおりとする。製図の基準は、原則、東広島事務所の指示に従うこと。ただし、東広島事務所の指示する以外は、土木学会制定『土木製図基準』によること。

- ・図面大きさは原則としてA1判とし、様式は東広島事務所の基準によること。
- ・縮尺は、原則として次のとおりとする。

位置図・・・1/10,000、平面図・・・1/200～1/100、断面図・・・1/200～1/100

構造図・・・1/200～1/100、詳細図・・・1/100～1/10

施工図・仮設図・・・作成図面の縮尺とする。

積算参考図・・・作成図面の縮尺とする。

- ・CADで設計図面を作成した場合は、図面データをJww（sfc）形式で電子納品すること。

その際、環境設定ファイルも合わせて提出すること。また、ウィルスチェックに関する情報を記入すること。（ウィルス対策ソフト名、チェック年月日）

2-10 数量計算

設計図に基づき、数量計算書を作成する。

2-11 報告書作成

設計条件、工法等の決定の経緯とその選定理由、設計図面、数量計算書、概算工事費、施工計画、施工段階での注意事項等を取りまとめて報告書を作成する。

2-12 照査

照査計画に基づき、作成された報告書の適切性及び整合性等の照査をする。

3 準拠図書等

本業務で準拠する主な図書等は、次のとおりとし、最新版を用いることとする。なお、これら以外の図書等を使用する場合は、別途、東広島事務所と協議を行うこと。

- (ア) 水道施設設計指針 日本水道協会
- (イ) 水道施設設計業務委託標準仕様書 日本水道協会
- (ウ) 水道施設の耐震設計入門 日本水道協会
- (エ) 水道維持管理指針 日本水道協会
- (オ) 水道施設耐震工法指針・解説 I 本編 日本水道協会
- (カ) 水道施設耐震工法指針・解説 II 参考資料編 日本水道協会
- (キ) 水道施設耐震工法指針・解説 III 設計事例編 日本水道協会
- (ク) 道路橋示方書・同解説 I 共通編 IV 下部構造編 日本道路協会
- (ケ) 道路橋示方書・同解説 V 耐震設計編 日本道路協会
- (コ) コンクリート標準示方書 設計編 土木学会
- (サ) 水門鉄管技術基準 水門鉄管協会
- (シ) 水管橋設計基準 日本水道鋼管協会
- (ス) 水管橋設計基準（耐震設計編） 日本水道鋼管協会
- (セ) 既設水管橋耐震補強の基本方針 日本水道鋼管協会
- (ソ) 改訂 解説・河川管理施設等構造令 日本河川協会
- (タ) 水道用塗覆装鋼管現場施工基準 日本水道鋼管協会
- (チ) 水道用鋼管現場溶接継手部の非破壊検査基準 日本水道鋼管協会
- (ツ) 水管橋外面防食基準 日本水道鋼管協会
- (テ) 水道用塗覆装鋼管現場塗覆装施工マニュアル 日本水道鋼管協会

4 成果品

成果品は、次のとおりとし、業務完了日までに提出すること。

- (ア) A4クロス製本 2部（正・副）
報告書・設計図面・数量計算書・各種計算書（検討書を含む）・現地等の写真
- (イ) 電子媒体（CD-R） 1組（本編、資料編及び本業務に係る全ての基礎データ）

以上

特 記 仕 様 書

本業務は、東広島市西条町下見地区に設置されている水管橋に低濃度 PCB が含有していることが判明したことから、安全にかつ送水の運用に支障を与えない方法でこれを除去し、水管橋の塗装を塗替えるために必要な実施設計を行うものである。

本業務の実施に当たっては、広島県制定「設計業務等共通仕様書（令和 7 年 8 月）」、「測量業務共通仕様書（令和 7 年 8 月）」、「地質・土質調査業務共通仕様書（令和 7 年 8 月）」、日本水道協会制定「水道施設設計業務委託標準仕様書」及び広島県水道広域連合企業団東広島事務所制定「蓮花寺橋水管橋塗装塗替設計業務特記仕様書」に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

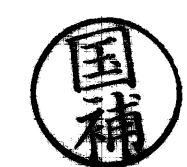
1. 「広島県」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替えるものとする。（ただし、「設計業務等共通仕様書」第 1 編第 1 章第 1119 条、第 1150 条、第 1 編第 2 章第 1209 条第 12 項、「測量業務共通仕様書」第 1 章第 105 条、第 120 条、第 156 条、「地質・土質調査業務共通仕様書」第 1 章第 120 条及び第 153 条においては読み替えないものとする。）
2. 「契約規則第 2 条の 1」とあるのは「東広島市業務委託契約規則第 2 条」と読み替えるものとする。
3. 「契約約款 6 条」とあるのは「東広島市業務委託契約約款（以下「市契約約款」という。）第 5 条」、「契約約款 7 条」とあるのは「市契約約款第 6 条」、「契約約款 8 条」とあるのは「市契約約款第 7 条」、「契約約款 9 条」とあるのは「市契約約款第 8 条」、「契約約款 10 条」とあるのは「市契約約款第 9 条」、「契約約款 11 条」とあるのは「市契約約款第 10 条」、「契約約款 12 条」とあるのは「市契約約款第 11 条」、「契約約款 13 条」とあるのは「市契約約款第 12 条」、「契約約款 15 条」とあるのは「市契約約款第 14 条」、「契約約款 18 条」とあるのは「市契約約款第 17 条」、「契約約款 19 条」とあるのは「市契約約款第 18 条」、「契約約款 20 条」とあるのは「市契約約款第 19 条」、「契約約款 21 条」とあるのは「市契約約款第 20 条」、「契約約款 22 条」とあるのは「市契約約款第 21 条」、「契約約款 23 条」とあるのは「市契約約款第 22 条」、「契約約款 27 条」とあるのは「市契約約款第 26 条」、「契約約款 28 条」とあるのは「市契約約款第 27 条」、「契約約款 29 条」とあるのは「市契約約款第 28 条」、「契約約款 30 条」とあるのは「市契約約款第 29 条」、「契約約款 31 条」とあるのは「市契約約款第 30 条」、「契約約款 33 条」とあるのは「市契約約款第 32 条」、「契約約款 40 条」とあるのは「市契約約款第 39 条」と読み替えるものとする。

4. その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
—	—	—	—	前払金		契約金額が 50 万円以上の委託業務の場合は、前払金を請求することができる。 前払金は契約金額の 30%以内とする。 その他、前金払の適用は、次の要領による。 業務委託代金前金払実施要領
—	—	—	—	目的物		納入目的物は、次のとおりとし、その権利は全て広島県水道広域連合企業団東広島事務所の所有とする。提出部数は 2 部とし、調査職員が必要とするものは、電子データで 1 部提出するものとする。 1) 設計原図 ・位置図・・・1/10,000 以下 ・平面図・・・1/200～1/100 ・断面図・・・1/200～1/100 ・構造図・・・1/200～1/10 ・詳細図・・・1/100～1/10 ・施工図・仮設図、積算参考図、その他の図面 ・・・作成図面の縮尺とする。 2) 現地調査報告書 1 式 3) 関係機関協議用資料 1 式 4) 各種検討書 1 式 5) 数量計算書（概算工事費を含む）1 式 6) 打合せ記録（写し）1 式

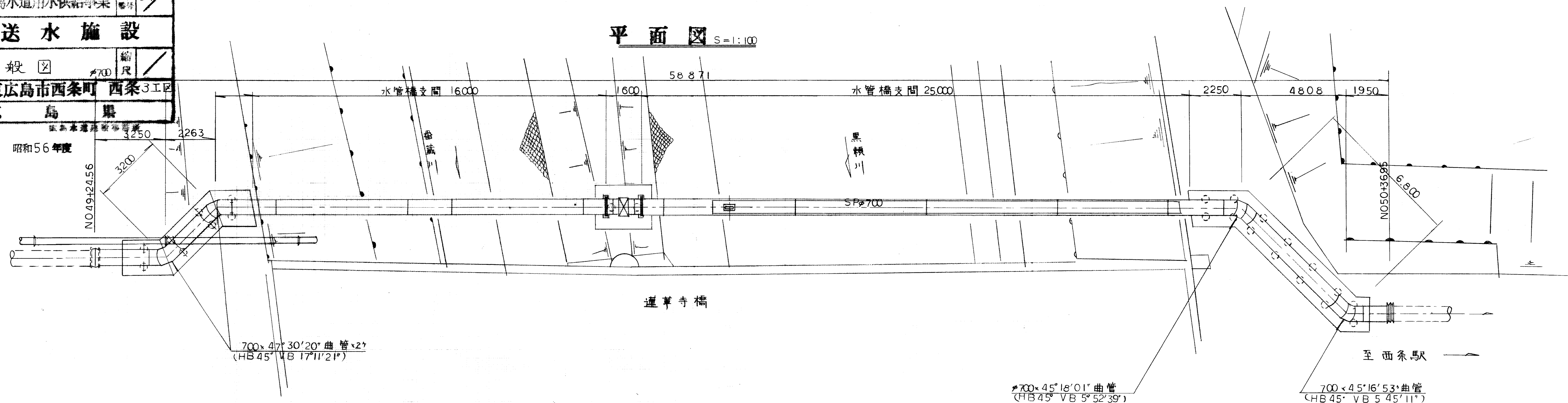
設計業務等共通仕様書						
1	1	1	1101	適用	1	「広島県土木建築局」とあるのは「広島県水道広域連合企業団東広島事務所」と読み替えるものとする。
1	1	1	1112	業務計画書	2 修正	業務計画書には、契約図書に基づき次の事項を記載するものとする。 (1) 業務概要 (2) 実施方針 (3) 業務工程 (4) 業務組織計画 (5) 打合せ計画 (6) 成果品の品質を確保するための計画 (7) 成果品の内容、部数 (8) 使用する主な図書及び基準 (9) 連絡体制（緊急時含む） (10) 使用する主な機器 (11) その他 ※（2）実施方針又は（11）その他には、第 1131 条 個人情報 の取扱い、第 1132 条 安全等の確保及び第 1137 条 行政情報流出防止対策の強化に関する事項も含めるものとする。なお、（6）には、照査計画を記載し、その照査項目のリストを添付するものとする。
1	1	1	1117	成果物の提出	4 修正	受注者は成果物の提出について調査職員の指示によるものとする。
1	1	1	1136	低入札価格調査制度		適用しない。
1	1	2	1144	成果物の提出	2	適用しない。
1	1	2	1146	業務成績評価		適用しない。
1	1	2	1147	情報共有システム		適用しない。
1	1	2	1148	総合評価落札方式		適用しない。
—	—	—	—	内容		蓮花寺橋水管橋塗装塗替設計業務 1 式 対象施設：鋼管 φ700（送水管）L=42.6m（橋台 3 台） ・設計協議（初回、中間（2 回）、最終） ・設計計画 ・現地調査 ・関係機関協議及び資料作成 ・既存資料調査 ・施工検討及び安全対策検討 ・劣化対策検討 ・概算工事費作成 ・設計図 ・数量計算 ・報告書作成 ・照査 ※各項目の詳細については、別途、特記仕様書に示す。

事業名	広島水道用水供給事業	図番	54
工種	送水施設	縮尺	1/100
種別	一般図	工事場所	東広島市西条町 西条3工区
広島県			

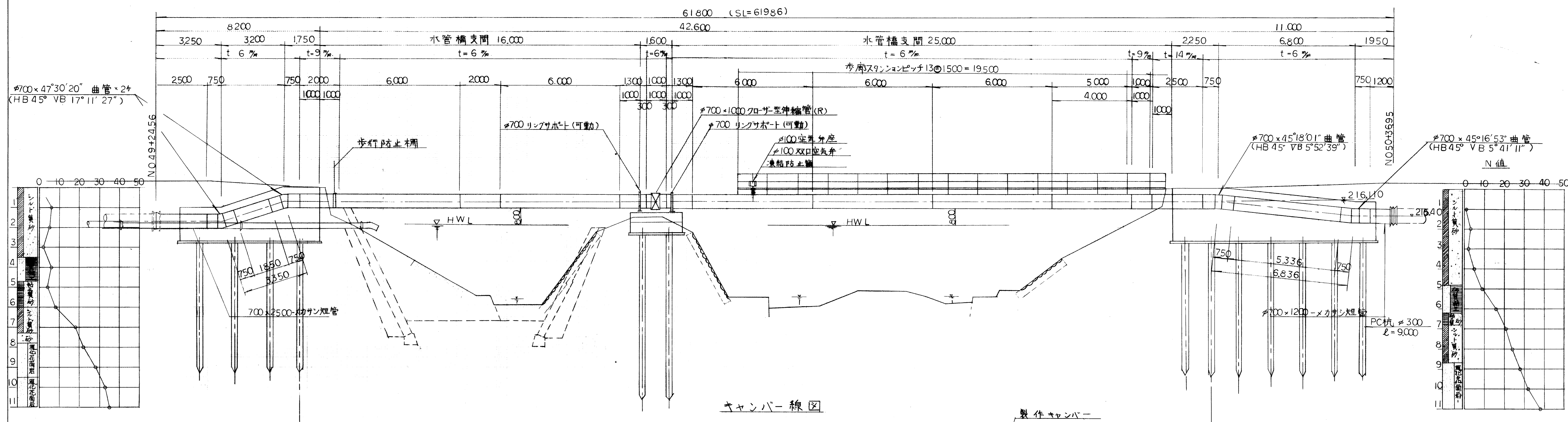


昭和56年度
広島県建設部
広島市建設局

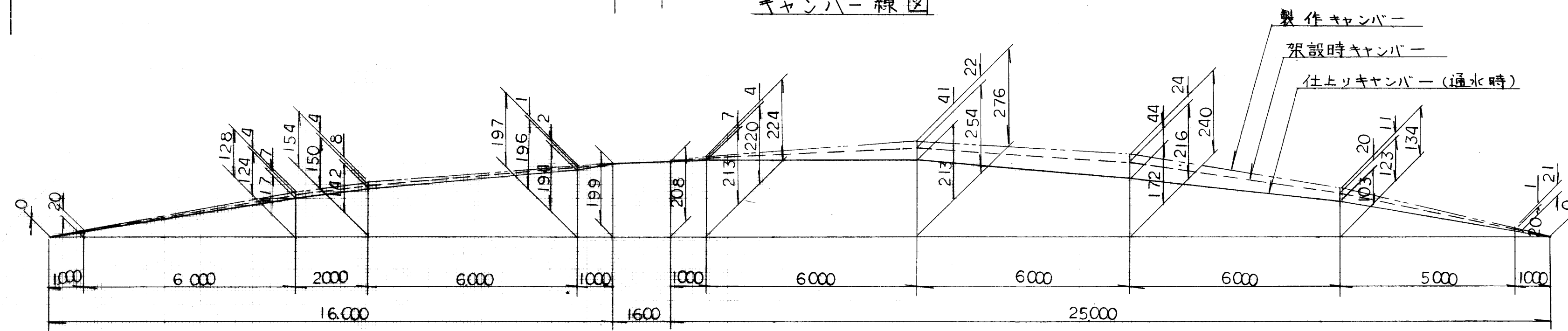
平面図 S=1:100



縦断図 S=1:100



キャンバー線図



設計業務費 内訳表

頁 0 - 0002

費目・工種・施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費						
直接人件費						
		1	式			
直接人件費等						
		1	式			
設計協議						
		1	式			
第 1 回打合せ						
		1	式			
第 1 回打合せ						
		1	回			
中間打合せ（設計協議）						
		1	式			
中間打合せ（設計協議）						
		1	回			
中間打合せ（関係機関協議）						
		1	式			

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
	中間打合せ（関係機関協議）					
		1	回			
	最終打合せ					
		1	式			
	最終打合せ					
		1	回			
	設計計画					
		1	式			
	設計計画					
		1	式			
	設計計画					
		1	式			
	現地調査					
		1	式			
	現地調査					
		1	式			
	現地調査					
		1	式			

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
関係機関協議及び資料作成					
	1	式			
関係機関協議及び資料作成（河川管理者）					
	1	式			
関係機関協議及び資料作成（河川管理者）					
	1	式			
既存資料調査					
	1	式			
既存資料調査					
	1	式			
既存資料調査					
	1	式			
施工び安全対策検討					
	1	式			
施工び安全対策検討					
	1	式			
施工び安全対策検討					
	1	式			

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
劣化対策検討					
	1	式			
劣化対策検討					
	1	式			
劣化対策検討					
	1	式			
概算工事費作成					
	1	式			
概算工事費作成					
	1	式			
概算工事費作成					
	1	式			
補修図の作成					
	1	式			
補修図の作成 塗装設計					
	1	式			
補修図の作成 塗装設計					
	1	式			

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
数量計算						
		1	式			
数量計算 塗装設計						
		1	式			
数量計算 塗装設計						
		1	式			
報告書作成						
		1	式			
報告書作成						
		1	式			
報告書作成						
		1	式			
照査						
		1	式			
照査						
		1	式			
照査						
		1	式			

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費					
直接経費					
旅費交通費					
	1	式			
旅費交通費					
	1	式			
旅費交通費					
	1	式			
旅行交通費					
	1	式			
電子成果品作成費					
	1	式			
電子成果品作成費					
	1	式			
電子成果品作成費					
	1	式			

設計業務費 内訳表

費目・工種・施工名称など		数量	単位	単価	金額	備考
	電子成果品製作費					
		1	式			
直接原価						
その他原価	計算情報…… 対象額…… 率……					
間接原価						
業務原価						
一般管理費等	計算情報…… 対象額…… 率……					
業務価格計						
消費税相当額計	計算情報…… 対象額…… 率……					
業務費計						

参 考 図 書

業務名称 : 令和7年度 水道管維持管理事業
蓮花寺橋水管橋塗装塗替設計業務

<注意事項>

1 本業務は、数量公開の対象業務です。

2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 44 東広島市 00-07.10.01(0)		《凡例》 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	2 委託		
	当世代	前世代	
発注区分	41 建設コンサル		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

設計業務費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
設計業務費					X3000
直接人件費					Y1999 レベル1
	1	式			
直接人件費等					Y2999 レベル2
	1	式			
設計協議					Y3999 レベル3
	1	式			
第1回打合せ					Y4999 レベル4
	1	式			
第1回打合せ					V000000100 00
	1	回			単第0 -0001 表
中間打合せ（設計協議）					Y4999 レベル4
	1	式			
中間打合せ（設計協議）					V000000200 00
	1	回			単第0 -0002 表
中間打合せ（関係機関協議）					Y4999 レベル4
	1	式			

設計業務費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など 中間打合せ（関係機関協議）	数量	単位	単価	金額	備考
	1	回			V000000300 00 単第0 -0003 表
最終打合せ	1	式			Y4999 レベル4
最終打合せ	1	回			V000000400 00 単第0 -0004 表
設計計画	1	式			Y3999 レベル3
設計計画	1	式			Y4999 レベル4
設計計画	1	式			V000000600 00 単第0 -0005 表
現地調査	1	式			Y3999 レベル3
現地調査	1	式			Y4999 レベル4
現地調査	1	式			V000000700 00 単第0 -0006 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
関係機関協議及び資料作成					Y3999 レベル3
	1	式			
関係機関協議及び資料作成（河川管理者）					Y4999 レベル4
	1	式			
関係機関協議及び資料作成（河川管理者）					V000000800 00
	1	式			単第0 -0007 表
既存資料調査					Y3999 レベル3
	1	式			
既存資料調査					Y4999 レベル4
	1	式			
既存資料調査					V000001100 00
	1	式			単第0 -0008 表
施工び安全対策検討					Y3999 レベル3
	1	式			
施工び安全対策検討					Y4999 レベル4
	1	式			
施工び安全対策検討					V000001200 00
	1	式			単第0 -0009 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
劣化対策検討	1	式			Y3999 レベル3
劣化対策検討	1	式			Y4999 レベル4
劣化対策検討	1	式			V000000500 00 単第0 -0010 表
概算工事費作成	1	式			Y3999 レベル3
概算工事費作成	1	式			Y4999 レベル4
概算工事費作成	1	式			V000001300 00 単第0 -0011 表
補修図の作成	1	式			Y3999 レベル3
補修図の作成 塗装設計	1	式			Y4999 レベル4
補修図の作成 塗装設計	1	式			V000001500 00 単第0 -0012 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
数量計算					Y3999 レベル3
	1	式			
数量計算 塗装設計					Y4999 レベル4
	1	式			
数量計算 塗装設計					V000001600 00
	1	式			単第0 -0013 表
報告書作成					Y3999 レベル3
	1	式			
報告書作成					Y4999 レベル4
	1	式			
報告書作成					V000001700 00
	1	式			単第0 -0014 表
照査					Y3999 レベル3
	1	式			
照査					Y4999 レベル4
	1	式			
照査					V000001800 00
	1	式			単第0 -0015 表

設計業務費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
※※直接人件費※※					
直接経費					Z0001
旅費交通費					YZZ0101 レベル2
	1	式			
旅費交通費					YZZ010101 レベル3
	1	式			
旅費交通費					YZZ01010101レベル4
	1	式			
旅行交通費					F000000200 00
	1	式			
電子成果品作成費					YZZ0102 レベル2
	1	式			
電子成果品作成費					YZZ010201 レベル3
	1	式			
電子成果品作成費					YZZ01020101レベル4
	1	式			

設計業務費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
電子成果品製作費					F000000100 00
	1	式			
※※直接原価※※					
その他原価 計算情報…… 対象額……… 率………					
※※間接原価※※					
※※業務原価※※					
一般管理費等 計算情報…… 対象額……… 率………					
業務価格計					
消費税相当額計 計算情報…… 対象額……… 率………					
業務費計					

施工単価表

第1回打合せ

V000000100

單第0 -0001 表

頁0 -0009

1

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0010

中間打合せ（設計協議）

V000000200

單第0 -0002 表

1

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0011

中間打合せ（関係機関協議）

V000000300

單第0 -0003 表

I

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0012

最終打合せ

V000000400

單第0 -0004 表

1

回 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0013

設計計画

V000000600

單第0 -0005 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0014

現地調査

V000000700

單第0 -0006 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0015

関係機関協議及び資料作成（河川管理者）

V000000800

單第0 -0007 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

既存資料調査

V000001100

單第0 -0008 表

頁0 -0016

式 当り

[illegible]

施工単価表

施工び安全対策検討

V000001200

單第0 -0009 表

頁0 -0017

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0018

劣化対策検討

V000000500

單第0 -0010 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0019

概算工事費作成

V000001300

單第0 -0011 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0020

補修図の作成 塗装設計

V000001500

單第0 -0012 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

数量計算 塗装設計

V000001600

單第0 -0013 表

1

式 当り

[illegible]

施工単価表

報告書作成

V000001700

單第0 -0014 表

頁0 -0022

式 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0023

照査

V000001800

單第0 -0015 表

1

式 当り

[illegible]